



関西学院大学大学院
人間福祉研究科

Graduate School of Human Welfare Studies



KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

目次

1. 入学者受入方針	2
2. 入試種別・募集人員	2
3. 人材育成の目標	2
4. 理念・目的・教育目標	3
5. ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）	4
6. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）	4
7. 学位論文審査基準	5
8. 修了要件	5
9. 学位	5
10. カリキュラム	6
11. 修士学位取得プロセス	7
12. 履修モデル	8
13. 博士学位取得プロセス	10
14. 指導教員	11
15. 研究環境	11
16. 教学補佐制度（TA）	12
17. 奨学金	13
18. 研究奨励制度	14
19. 修了者の主な就職先	14

関西学院大学大学院 人間福祉研究科

1. 入学者受入方針

人間福祉研究科は、人間と社会（環境）の中で生じたさまざまな問題に対応するため、幅広い教育と研究、社会貢献といった側面から対応できる、より高度な専門性を持つ実践家や研究者の育成を目指しています。

人間福祉専攻における学問的な構成は、社会福祉方法論、社会福祉の理論、歴史、思想、哲学、価値などの原理論、加えて社会福祉政策論、社会福祉行財政論、福祉国家論、国際福祉論などの領域、さらには社会起業・社会的企業論、人の生死や身体に関わる死生学、健康科学などに及んでいます。

前期課程においては、人間福祉の諸分野に高い関心を持ち、社会のさまざまな場においてその専門性を発揮し、社会に貢献する意欲のある者を受け入れています。また、広く社会から人材を集めつつ、国際的な研究活動に取り組むために、社会人および留学生の受け入れを積極的に図っています。

後期課程においては、人間福祉領域における高度な研究能力を身につけ、優れた研究を行うことのできる者を受け入れています。

2. 入試種別・募集人員

【前期課程】

正規学生 (一般)		正規学生 (推薦) ^注	特別学生 (社会人)		特別学生 (留学生)	
第1次	第2次	第1次	第1次	第2次	第1次	第2次
8名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名

※入学試験の実施時期については、第1次入試は9月、第2次入試は2月となります。

注：正規学生（推薦）は、関西学院大学人間福祉学部学生を対象とした入学試験です。

【後期課程】

正規学生 (一般)	特別学生 (社会人)		特別学生 (留学生)		正規学生（一般） 編入学試験	
第2次	第1次	第2次	第1次	第2次	第1次	第2次
5名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名

※入学試験の実施時期については、第1次入試は9月、第2次入試は2月となります。

3. 人材育成の目標

【前期課程】

人間福祉の諸分野を学び、高い学識と高度な専門的な知識を持ち、リサーチ能力、分析能力、政策立案能力を涵養し、社会の様々な場においてその専門性を発揮し、社会に貢献できる人材の育成を目的とします。同時に、後期課程に進学していくための研究指導と教育も行います。

【後期課程】

人間福祉の領域における高度な研究能力を涵養し、学問研究の継承と独創的な研究により博士学位を取得できる人材の育成を目的とします。

4. 理念・目的・教育目標

関西学院の建学の精神であるキリスト教主義教育とスクールモットーである「Mastery for Service（奉仕のための練達）」を基本にして、急速なグローバル化と少子高齢社会等の下で変化する価値観の中で、多様化する社会的、心理的、あるいは政治的、経済的問題に対する精緻な分析能力を保持し、社会福祉学を基本にした学際的なアプローチで、問題解決に向けた高い実践能力や実証研究能力を涵養します。これにより、従来の社会福祉学分野にとどまらず、隣接した領域においても指導的役割を担える人材養成や研究者の育成を果たすことを人間福祉研究科人間福祉専攻の教育研究目的（ミッション）として据えています。

前期課程では、人間福祉の諸分野を学び、高い学識と高度な専門的知識を持ち、リサーチ能力、分析能力、政策立案能力を保持し、社会の様々な場においてその専門性を発揮し、社会に貢献できる人材の育成を重視していきます。同時に、後期課程に進学するための研究指導と教育を行います。

後期課程では、人間福祉領域における高度な研究能力を涵養し、学問研究の継承と独創的な研究による博士学位取得のための教育を行います。

以上の目的を実現するため、専門教育と幅広い学識の涵養を併せて実現できるようなカリキュラムを提供します。そして以下のような「教育目標」を置いています。

【前期課程】

- (1) 建学の精神であるキリスト教主義教育の価値観、並びにスクールモットー「Mastery for Service」の理念を理解し実践に反映できる能力の育成。
- (2) 人間福祉の基礎となる価値・思想・理論・歴史、並びに学問的方法の修得。
- (3) 児童、高齢者、障害者等の社会福祉学分野の研究。
- (4) ソーシャルワーク諸理論の理解と実践方法の分析や開発能力の育成。
- (5) 社会福祉政策、社会保障、社会福祉行財政、国際福祉に関する分析と問題解決能力の修得。
- (6) 人間の生と死にかかわる本質的な課題や健康・スポーツ、身体論についての理解と実践能力の涵養。
- (7) 人間福祉の諸領域におけるリサーチ方法、分析能力、立案能力の涵養。
- (8) 専門職に対するスーパービジョン能力の涵養。

【後期課程】

- (1) キリスト教並びにスクールモットー「Mastery for Service」の理念、さらに社会福祉の価値を理解し、将来人間福祉に関連した研究並びに教育活動を通じて学問の発展と現代社会に生きる人々の幸福（Well-being）に寄与する指導的立場を担える人材の育成。
- (2) 人間福祉関連諸科学の方法論の修得。
- (3) 人間福祉に関連する種々の国内及び海外における論文、著書、資料を通して科学的な見地から問題を分析し、概念化できる能力の涵養。
- (4) 高い量的・質的リサーチ技法を諸々の分野で実践できる人材育成。
- (5) 研究者の養成。

5. ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

【前期課程】

修士（人間福祉）の学位は、以下の修了要件を満たす者に与えられます。

1. 人間福祉研究科博士課程前期課程に所定の年限在学し、所定の単位を修得し、修士論文の審査に合格した者。
2. 人間福祉研究の基礎となる思想・理論・歴史、及びその応用と発展につながる社会科学と人間科学の関連領域を学び、福祉の現場、行政、教育分野等において広く福祉社会の維持・発展に貢献できる高度な専門知識、及び実践的な技法を有すると認められる者。

【後期課程】

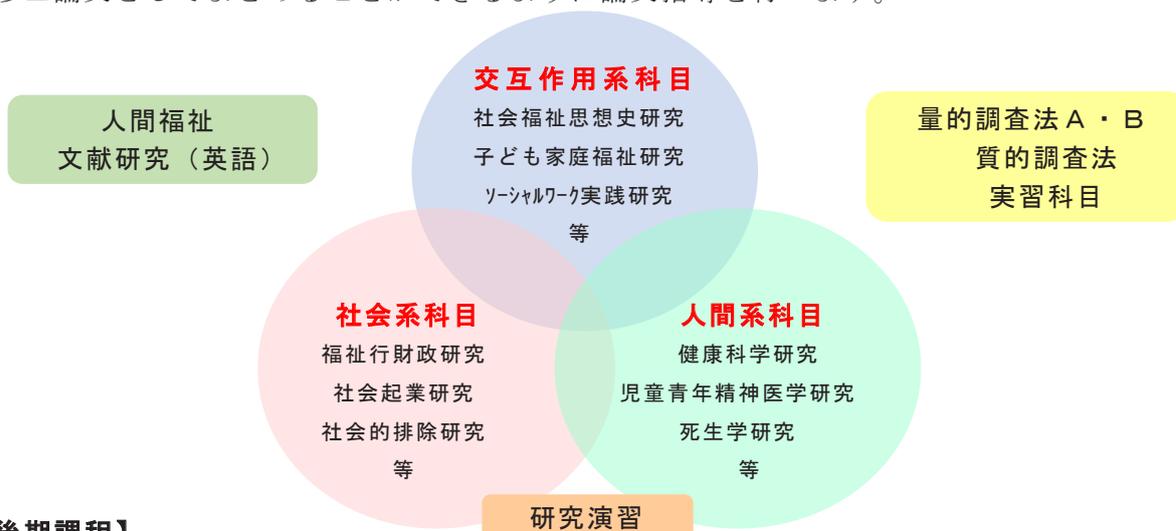
博士（人間福祉）の学位は、以下の修了要件を満たす者に与えられます。

1. 人間福祉研究科博士課程に所定の年限在学し、所定の単位を修得し、博士論文の審査に合格した者。
2. 人間福祉の専門領域において、自立した研究者として高い水準の研究から得た独自データを活用できる高度な研究能力、及び専門領域に新たな理論的枠組みを提供する独創的な知見を有すると認められる者。

6. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

【前期課程】

研究者育成を目的としたカリキュラムだけでなく、福祉社会の維持・発展に貢献できる人材育成を前提とした多様なカリキュラムを整備しています。「人と社会（環境）の相互作用」の科目では社会福祉の様々な分野について、「社会系」の科目では福祉社会を支える国家や社会の構造について学びます。そして「人間系」科目では、人のこころと身体にかかわる問題を学びます。これらの科目以外にも、英語文献の講読科目やフィールドワーク科目を開講しており、狭い専門領域にとらわれることなく幅広く学べるように科目を配置しています。これらの科目を修得することで高度な知識と専門的技法を身に付け、その成果を修士論文としてまとめることができるように論文指導を行います。



【後期課程】

在籍者が研究テーマに即して指導教授を選び、その指導の下で博士論文の作成に取り組めるようにカリキュラムを整備しています。国内外の文献研究や質的・量的なリサーチの実施といったことで研究を深めるだけでなく、学会での報告や研究論文の学術雑誌への投稿・掲載で成果を社会に問うことも求めます。そして、これらの成果をまとめて博士論文を完成できるように論文指導を行います。また博士学位キャンディデート制を設けており、1年以内に博士論文を提出できると研究科から認められた者をキャンディデートとして承認します。

7. 学位論文審査基準

【前期課程 修士学位論文の評価基準】

1. 研究テーマの明確性
研究テーマが明確で、研究目的にかかる意義や必要性が述べられている。
2. 研究方法の妥当性
研究目的に照らして研究・分析の方法が適切である。
3. 先行研究との関連性
関連する研究を渉猟し理解した上で、その到達点が踏まえられている。
4. 論理の一貫性
分析、結果、考察に至る論理展開に整合性、一貫性がある。
5. 独創性
考察・結論において学術的に独創性・重要性がある。

【後期課程 博士学位論文の評価基準】

1. 研究テーマの明確性
研究テーマが明確で、研究目的にかかる意義や必要性が的確に述べられている。
2. 研究方法の妥当性・厳密性
研究目的に照らして研究の方法が適切である。
資料・データの取り扱いや分析結果の解釈が妥当且つ厳密である。
3. 先行研究との関連性
関連する研究を十分に渉猟し、的確に理解した上で、その到達点が踏まえられている。
4. 論理の一貫性
分析、結果、考察に至る論理展開に整合性、一貫性があり、明確に結論が導き出されている。
5. 独創性
考察・結論において学術的に独創性・重要性があり、社会への貢献が果たされる。

8. 修了要件

【前期課程】

次の(1)～(3)すべてを満たす必要があります。

- (1) 2年以上の在学（休学期間は除く）
- (2) 必修科目 10 単位を含む 34 単位以上の単位修得
- (3) 修士論文審査合格

【後期課程】

次の(1)～(3)すべてを満たす必要があります。

- (1) 3年以上の在学（休学期間は除く）
- (2) 必修科目 14 単位の単位修得
- (3) 博士論文審査合格

9. 学位

人間福祉研究科で取得できる学位は次のとおりです。

- | | |
|---------------|---|
| 前期課程：修士（人間福祉） | Master of Arts in Human Welfare Studies |
| 後期課程：博士（人間福祉） | Doctor of Philosophy in Human Welfare Studies |

10. カリキュラム

【前期課程】

科目区分	科目名	単位	修了要件単位数
専門基礎科目 (必修)	人間福祉文献研究 (英語)	2	小計 2
専門選択科目 (選択)	交互作用系科目 社会福祉学理論研究 2 社会福祉思想史研究 2 高齢者福祉研究 2 子ども家庭福祉研究 2 障害者福祉研究 2 保健医療福祉研究 2 ソーシャルワーク実践研究 2 ソーシャルワークEBP研究 2 ジェンダー福祉研究 2 社会系科目 福祉行財政研究 2 福祉情報研究 2 福祉国家研究 2 国際福祉研究 2 社会起業研究 2 社会的排除研究 2 非営利マネジメント研究 2 地域福祉研究 2 人間系科目 健康科学研究 2 身体運動科学研究 2 児童青年精神医学研究 2 死生学研究 2 悲嘆学研究 2 野外教育研究 2 人間学文献研究 2 福祉人類学研究 2 共通科目 量的調査法A 2 量的調査法B 2 質的調査法 2 人間福祉特殊研究A 2 人間福祉特殊研究B 2 人間福祉特殊研究C 2 人間福祉特殊研究D 2 人間福祉特殊研究E 2 人間福祉特殊研究F 2		小計 24
実習・実務科目 (選択)	アドバンスト・フィールドワーク	4	
研究演習 (必修)	研究演習 (第1学年次、第2学年次にそれぞれ4単位)	4	小計 8
合 計			34

【後期課程】

科目区分	科目名	単位	修了要件単位数
文献研究 (必修)	人間福祉文献研究講読 (英語)	2	小計 2
研究演習 (必修)	研究演習 (第1～第3学年次にそれぞれ4単位)	4	小計 12
合 計			14

11. 修士学位取得プロセス

人間福祉研究科博士課程前期課程における修士学位を取得するプロセスは次のとおりです。

前期課程 第1学年度	
4月初旬	履修登録
4月末迄	副指導教員届の提出（1名以上の副指導教員の届け出）
第1学年度中	<p>専門基礎科目（必修）：人間福祉文献研究（英語）の単位修得（2単位）</p> <p>専門選択科目（選択）：交互作用系科目、社会系科目、人間系科目、共通科目群の各科目 および</p> <p>実習・実務科目（選択）：アドバンスト・フィールドワーク の中から単位修得（計14～18単位程度）</p> <p>研究演習（必修）：指導教員の研究演習の単位修得（4単位）</p>
前期課程 第2学年度	
4月初旬	履修登録
4月末迄	「修士論文計画書」の提出
5月第3土曜	前期課程中間報告会
第2学年度中	<p>専門選択科目（選択）：交互作用系科目、社会系科目、人間系科目、共通科目群の各科目 および</p> <p>実習・実務科目（選択）：アドバンスト・フィールドワーク の中から単位修得（計6～10単位程度）</p> <p>研究演習（必修）：指導教員の研究演習の単位修得（4単位）</p>
1月16日迄	「修士学位申請論文」提出 修士学位申請論文（3部）、修士学位申請論文概要書（3部）、 修士学位授与申請書（所定用紙）
2月中旬～ 下旬	「修士学位申請論文」の公開口頭試問
3月上旬	研究科委員会：審査結果報告および学位授与決定
3月中旬	大学院学位記授与式（「修士学位記」授与）

12. 履修モデル

人間福祉研究科博士課程前期課程における履修モデルは次のとおりです。

[前期課程「社会福祉」履修モデル]

	1 年 次		2 年 次		修得単位	必要単位
	授 業 科 目 名	単 位	授 業 科 目 名	単 位		
専門基礎科目	人間福祉文献研究（英語）	2			2	2
専門選択科目	交互作用系科目		交互作用系科目			
	社会福祉学理論研究	2	保健医療福祉研究	2		
	社会福祉思想史研究	2	ソーシャルワーク実践研究	2		
	高齢者福祉研究	2	ジェンダー福祉研究	2		
	子ども家庭福祉研究	2				
	障害者福祉研究	2				
専門選択科目	共通科目					
	量的調査法 B	2				
	質的調査法	2				
実習・実務科目	アドバンスト・フィールドワーク	4			24	24
研究演習	研究演習	4	研究演習	4	8	8
合 計		24		10	34	34

[前期課程「社会起業」履修モデル]

	1 年 次		2 年 次		修得単位	必要単位
	授 業 科 目 名	単 位	授 業 科 目 名	単 位		
専門基礎科目	人間福祉文献研究（英語）	2			2	2
専門選択科目	社会系科目		交互作用系科目			
	福祉行財政研究	2	社会福祉学理論研究	2		
	福祉情報研究	2	共通科目			
	福祉国家研究	2	量的調査法 B	2		
	国際福祉研究	2	質的調査法	2		
	社会起業研究	2				
	社会的排除研究	2				
	非営利マネジメント研究	2				
	地域福祉研究	2				
	専門選択科目	共通科目				
	人間福祉特殊研究 A	2				
実習・実務科目					24	24
研究演習	研究演習	4	研究演習	4	8	8
合 計		24		10	34	34

[前期課程「人間科学こころ系」履修モデル]

	1 年 次		2 年 次		修得単位	必要単位
	授 業 科 目 名	単 位	授 業 科 目 名	単 位		
専門基礎科目	人間福祉文献研究（英語）	2			2	2
専門選択科目	交互作用系科目		社会系科目			
	社会福祉学理論研究	2	福祉情報研究	2		
	高齢者福祉研究	2	人間系科目			
	子ども家庭福祉研究	2	人間学文献研究	2		
	人間系科目		共通科目			
	児童青年精神医学研究	2	量的調査法B	2		
	死生学研究	2	質的調査法	2		
	悲嘆学研究	2				
実習・実務科目	アドバンスト・フィールドワーク	4			24	24
研究演習	研究演習	4	研究演習	4	8	8
合 計		22		12	34	34

[前期課程「人間科学身体系」履修モデル]

	1 年 次		2 年 次		修得単位	必要単位
	授 業 科 目 名	単 位	授 業 科 目 名	単 位		
専門基礎科目	人間福祉文献研究（英語）	2			2	2
専門選択科目	交互作用系科目		社会系科目			
	高齢者福祉研究	2	福祉情報研究	2		
	子ども家庭福祉研究	2	人間系科目			
	人間系科目		人間学文献研究	2		
	健康科学研究	2	共通科目			
	身体運動科学研究	2	量的調査法B	2		
	児童青年精神医学研究	2	質的調査法	2		
	野外教育研究	2				
実習・実務科目	アドバンスト・フィールドワーク	4			24	24
研究演習	研究演習	4	研究演習	4	8	8
合 計		22		12	34	34

13. 博士学位取得プロセス

人間福祉研究科博士課程後期課程における博士学位を取得するプロセスは次のとおりです。

後期課程 第1学年度	
4月初旬	履修登録
4月末迄	「博士論文計画書（年次研究計画書）」の提出
第1学年度中	学会での発表を行う。 「単著論文」（公開可能な単著論文で20,000字程度）または、 「共著論文」（ファーストオーサーで書かれたもの）を作成。
1月下旬	後期課程成果報告会の要旨を提出（2,000字程度）
2月中旬	後期課程成果報告会
後期課程 第2学年度	
4月初旬	履修登録
4月末迄	「博士論文計画書（年次研究計画書）」の提出
第2学年度中	学会での発表を行う。 「単著論文」または「共著論文（ファーストオーサーで書かれたもの）」 を学術誌（査読制度のあるもの）に投稿し受理されること。
1月下旬	後期課程成果報告会の要旨を提出（2,000字程度）
2月中旬	後期課程成果報告会
2月末	「博士学位申請論文 中間報告書」提出（20,000字程度）
3月中旬	「博士学位申請論文 中間報告書」に関する口頭試問
3月下旬	「博士学位キャンディデート」の承認 ※ （承認要件：学会発表2回以上、「単著論文」または「共著論文（ファーストオーサーで書かれたもの）」2編以上の作成＜内1編以上は、査読制度のある学術誌への投稿・採択＞）
後期課程 第3学年度	
4月初旬	履修登録
4月末迄	「博士論文計画書（年次研究計画書）」の提出
11月末迄	「博士学位申請論文」提出 博士学位申請論文（3部）、博士学位授与申請書（所定用紙） 博士学位申請論文要旨（3部）、履歴書（2部）、教育研究業績書（2部）
12月	後期課程指導教員委員会：受理および審査委員会構成
1月～2月	「博士学位申請論文」の公開口頭試問
1月下旬	後期課程成果報告会の要旨を提出（2,000字程度）
2月中旬	後期課程成果報告会
3月上旬	後期課程指導教員委員会 大学評議会：審査結果報告および学位授与決定
3月中旬	大学院学位記授与式（「博士学位記」授与）

※博士学位キャンディデートとは、1年以内に博士論文を提出できると人間福祉研究科から認められた者を指します。

14. 指導教員

大学院入学試験受験時に志望した指導教員が大学院研究科における指導教員となります。また、人間福祉研究科では、副指導教員制度を設けています。入学後に指導教員の他に1名以上の副指導教員を決めることで複数の教員による研究指導を行います。

指導教員、研究テーマについては、別紙をご確認ください。

教員の研究の詳細については、研究者データベースのサイトをご覧ください。

<http://researchers.kwansei.ac.jp/search?m=home&l=ja>

15. 研究環境

(1) 人間福祉研究科生専用設備

①院生室

G号館3階に院生室1、院生室2があります。前期課程学生、後期課程学生が共同で利用するものです。机、椅子、ソファ、ロッカー、ミーティングルームなどが備えられています。



②院生 PC 室

G号館3階に人間福祉研究科生用のPC室があり、10台のパソコンが備えられています。これらのパソコンは西宮上ヶ原キャンパス内の標準パソコンと同じ仕様です。利用可能時間は次表のとおりです。パソコンの利用には関西学院システム利用ID（入学時に配付）が必要です。

[人間福祉研究科 院生室・院生 PC 室開室時間]

平日	土曜日
8:50～19:00 (通常時)	8:50～13:00 (通常時)
8:50～23:00 (延長利用時)	8:50～23:00 (延長利用時)

(注) 延長利用手続：

院生室・院生 PC 室を延長利用する場合は、当日の人間福祉学部事務室開室時間内に延長申請を行う必要があります。

(2) 学部学生との共用設備

人間福祉学部資料室

G号館3階に資料室があり学生証で利用が可能です。貸出ルールは次表のとおりです。



[人間福祉学部資料室 図書・機器貸出等ルール]

<ul style="list-style-type: none"> ■ 視聴覚教材 ■ 人間福祉研究科修士論文・博士論文 ■ 人間福祉学部教員著書コーナーの図書 	閲覧のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修士論文の複写は禁止です。 ・ 博士論文の複写は一般の図書資料の扱いに準じます。
<ul style="list-style-type: none"> ■ 図書、雑誌、資料 	貸出 (当日のみ)	
<ul style="list-style-type: none"> ■ ICレコーダー、プロジェクター、デジタルカメラ、ビデオカメラ等 	貸出 (1週間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器リストは資料室にあります。

(3) 西宮上ヶ原キャンパスにおけるその他教育研究支援設備

① 大学院学生共同研究室

大学院学生専用の研究スペースとして、大学院共同研究室を設置しています。夏季・冬季一斉休暇期間以外は、23:00 まで利用が可能な研究室もあります。また、グループ利用できる研究室、資料のコピー作成等に利用できる資料準備室、ラウンジ、PC、ロッカーなどを設置しています。

② 大学図書館

地上3階、地下2層で、全面開架制を採用し、約150万冊の図書・資料があります。館内には1,700席の閲覧座席をはじめ、PC室、グループ閲覧室、大学院生と教員のみが研究・調査のために利用できる研究個室等の設備、機器を設けています。

16. 教学補佐制度 (TA)

研究を行いながら、授業の補佐などの教育支援業務または教務事務、学部行事等の補助により報酬を得られる制度です。採用人数に制限があり、希望者が多い場合には選抜されます。業務内容、月額報酬、採用人数については、年度により替わることがあります。

[教学補佐の職種・業務内容・報酬]

職 種	主な業務内容	月額報酬
① 学部行事等補助	試験監督、学部行事補助、履修関係業務、その他	50,000 円
② 授業の補佐	授業の補助業務	1 科目につき 11,200 円

17. 奨学金

人間福祉研究科生が対象となる主な奨学金は、以下のとおりです。なお、奨学金はいずれも採用人数に限りがあり、申請者が多い場合には選抜されます。ただし、ベーツ特別支給奨学金は研究科推薦による奨学金のため、この限りではありません。

種別	奨学金名 (採用期間)	金額	採用/募集方法
支給	関西学院大学大学院 ベーツ特別支給奨学金 (入学年度1年限り)	授業料・研究資料費・教育充実費 の合計額に相当する額	研究科推薦
	関西学院大学大学院 ベーツ第1種支給奨学金 (単年度、毎年出願可)	授業料・研究資料費・教育充実費 の合計額の1/2に相当する額	公募
	関西学院大学大学院 特別支給奨学金 (単年度) ※1	学費相当額の2分の1又は40万円 のうち、いずれか少ないほうの 金額	公募
貸与	日本学生支援機構奨学金 第一種奨学金【無利子】 (標準修業年限まで) ※2	前期課程(月額): 5万円または8.8万円から選択 後期課程(月額): 8万円または12.2万円から選択	公募
	日本学生支援機構奨学金 第二種奨学金【有利子】 (標準修業年限まで) ※2	月額5万円、8万円、10万円、 13万円、15万円から選択	公募
	関西学院大学大学院 緊急時貸与奨学金【無利子】 (単年度、在学中に1回限り出願可)	授業料・研究資料費・教育充実費 の合計額に相当する額	公募

※1 原則として、出願時までの1年以内に家計急変により生計が著しく困難になった者への経済援助を目的としています。

※2 特別学生(社会人)は日本学生支援機構奨学金の出願資格はありません。入学後、研究科所定の条件を満たし、正規学生に身分変更することで出願可能となります。また、提携教育ローンおよび利子補給奨学金制度も設けています。

【外国人留学生対象の奨学金】

種別	奨学金名 (採用期間)	金額	採用/募集方法
支給	関西学院大学大学院 外国人留学生奨学金 (単年度、毎年出願可)	授業料の35%相当額 (ただし、入学前予約採用者は授業 料の50%相当額)	公募

※本学では入学までに奨学金受給が決定する「入学前予約採用」制度を設置しています。大学在籍時の成績、卒業論文、入学試験の成績などにより、入学後高い研究成果が期待できる学生を対象に、合格者の約4割の学生を奨学金受給候補者として決定し、入学前に通知します。ただし、奨学生として正式に採用されるには在留資格などの一定条件を満たす必要があります。

18. 研究奨励制度

本学における主な研究奨励制度は以下のとおりです。

名称	支給額	期間	対象者
大学院博士課程 後期課程研究奨励金	学費相当額	1年間	若手研究者である博士課程後期課程の在学者のうち、研究能力が特に優れており、研究成果が期待できる者
大学院奨励研究員	月額 250,000円	1年間	本学大学院博士課程後期課程に2年以上在学している者、または本学大学院博士課程後期課程に標準年限以上在学後退学し、博士課程後期課程入学後5年以内の者で、1年（最長2年）以内に博士学位論文を提出する見込みのある者
大学院 海外研究助成金	海外での学会発表・ポスターセッション、海外で行う調査、海外の大学で実施される短期講習時の参加費、交通費、宿泊費等を補助。支給金額は本人からの申請に基づき経費相当額の全額または一部（上限10万円または上限20万円の2種類）を支給。	年間 1回	若手研究者である博士課程後期課程在学者および大学院研究員の海外における研究活動の支援・育成を目的として、海外における優れた個人研究や共同研究に要する経費を支給する助成金 （再申請は可能ですが、通算3回を超えて申請はできません）

19. 修了者の主な就職先

大阪府教育委員会	社会福祉法人	西宮市社会福祉協議会
尼崎市役所	社会福祉法人	伊丹市社会福祉事業団
伊丹市役所	社会福祉法人	神戸少年の町
高槻市役所	社会福祉法人	恩賜財団済生会支部岡山済生会総合病院
松原市役所	学校法人	関西学院
摂津市役所	学校法人	立命館
岐阜市役所	学校法人	淀之水学院
大阪府	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	
大阪市	星光商事株式会社	
堺市	株式会社ミルボン	
和歌山市		



関西学院大学大学院 人間福祉研究科

〒662-8501

兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

TEL: 0798-54-6844

FAX: 0798-54-6845

2018年5月発行